（様式１）

県立総和工業高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和７年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1） 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
（2） 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
（3） 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

1 校訓である「智和憤」と「ものづくりは人づくり」を教育活動の基盤とし、心身ともに健康で、豊かな人間性を育てるとともに、確かな技術力と企業が求める「社会人基礎力」を身につけた優秀な工業技術者を育成する学校。
2 圏央道沿線の工業団地の発展に貢献できる人材を育成する、地域に根差した工業高校。
3 全教職員が資質向上に努め、魅力ある教育活動を推進し、生徒、保護者及び地域社会から確かな信頼を寄せられる学校。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

・教科間の横断的・総合的な学習をとおして、探究する見方や考え方ができる。
・実社会における様々な課題について、主体的に判断し課題解決することができる。
・他者の多様な考えを受け入れ協働的に学び、自分の考えをよりよくすることができる。

総合的な探究の時間の学習評価

・設定した課題について、様々な手段で情報収集ができる。
・課題解決のために、自分の考え方をわかりやすくまとめている。
・学習や活動の状況などを観察し、その記録により評価する。
・プレゼンテーション発表などの表現方法を評価する。

生徒の実態

・積極的に学習に取り組む生徒がいる一方、学習意欲がわかず基礎学力の定着に課題を抱える生徒もみられる。
・素朴で素直な生徒が多く、全体的に落ち着いた生活を送っている。
・地元企業への就職や大学、専門学校を目指す生徒など、進路希望が多様である。

生徒の発達をどのように支援するか
〇配慮を必要とする生徒への指導

・出身中学校との連携を図り該当生徒の実態を把握し、その情報を職員間で共有する。
・個別に必要な支援方法を協議する。
・カウンセラーに適切な助言を求める。

目指す生徒の姿

・心身ともに健康で豊かな人間性を育てるとともに、確かな技術力と企業が求める「社会人基礎力」を身につけた優秀な工業技術者を育成する。
・地域に根差した工業高校を目指し、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

探究課題：職業の選択と社会貢献及び自己実現

校訓である「智・和・憤」を目指す資質・能力とする。

・「智」（知識・技能）
事象についてさまざまな角度から捉え、課題を発見し解決するための手順を考える。
課題発見力、計画力、創造力

・「和」（思考・判断・表現）
課題解決のために他者とコミュニケーションを取りながら議論を進める。
協調・協働力・傾聴力・発信力

・「憤」（主体的に取り組む態度）
学習状況を把握し、粘り強く調整しながら学習を進める。
変化に対応する力、実行力、働きかけ力

学習活動、指導方法等

【３学年】　課題研究で３単位代替

〇工業に関する課題について生徒自ら、研究するテーマを設定することにより、思考力や探究力、自主性や発信力が身につける。

〇研究は、個人又はグループにより行い研究・製作を行う。

〇成果の発表の場を設定し、製作した実物、スライド等を用いて効果的に行う。また、意見の交換を行う。

〇研究、製作の過程における主体的、協働的な取り組みを教員は支援する。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

・インターンシップ委員会　・・・・・・　地域企業の協力によるインターンシップ事業の企画立案および事業実施運営、成果報告書編集
・授業改善推進プロジェクト・・・・・・　横断的・総合的な授業の企画立案